



# 消防団たずね歩き

## 山の上の消防団

六甲山は、標高931mの自然豊かな隆起山脈で、六甲全山縦走をはじめ年間を通じて多くの観光・レジャー客で賑わっています。また、山頂からの眺望は美しく、晴れていれば遠く紀淡海峡まで望むことができますし、摩耶山掬星台からの夜景は日本三大夜景のひとつとされています。

このような六甲山を管轄に受け持っているのが灘消防団第8分団です。分団員は、六甲山に居住する4人と、山内の事業所に勤める4人の8人のみで、アットホームな雰囲気です。分団員が少ないため、必要などときには市街地の分団から応援を受けながら活動しています。

第8分団の1年の始まりは、毎年1月17日におこなっている放水訓練です。酷暑の中、取水するため池に張った氷を砕き、雪に足元を取られながら放水をしますが、とてもつらい反面、やりがいを強く感じる訓練でもあります。

初夏には六甲山防災フェアとして、住民・事業所・六甲山小学校の児童の皆さんとともに防災訓練を実施しています。

秋になると、住民向けの実践的な救急講習を開催しています。AEDの使用方法や応急手当について、年に一度ではありますが、一緒に勉強するいい機会となっています。

こうした活動は、やはり市街地の消防署か

らの緊急車両の到着に時間がかかるというこの地域特有の事情をふまえたもので、自分たちでできることは積極的に取り組んでいきたいと考えています。

毎月の活動としては、詰所に設置されたサイレンのテストを実施しています。六甲山中に危険を知らせる重要なサイレンなので、いざという時のために欠かさずおこなっています。また、10日と25日には、消防車で町内パトロールをおこなっています。

六甲山の住民は多くはありませんが、そのぶん私の顔を覚えていただいて顔なじみとなり、円滑な活動ができています。

六甲山は、夏は今年の猛暑でも30度を超えることがなく過ごしやすい一方、冬は市内でもここだけに雪が積もることも珍しくありません。とても市街地から20分ほどの距離にあるとは思えないほどの環境ですが、自らの健康に留意しながら、これからも地域貢献に励みたいと思います。



(灘消防団第8分団 分団長 山下 求)



**地域に根付いた消防団を目ざしています!**

～地域住民の安全・安心を確保するために～



神戸市消防局  
神戸市消防団

